

## 社会福祉コースの教育改革のポイント

point 1

## 理論と実践を

## 結びつけながら社会福祉を学ぶ。

社会福祉に関する理論を学び、学外活動で実践します。それらを統合することでより高度な福祉に関する理解を深めます。社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験対策では、本学独自のプログラムにより、学生一人ひとりを強気にバックアップします。

## 理論

社会福祉原論・ソーシャルワーク総論・ボランティア・NPO論・子ども環境論・地域福祉論など



## 国家試験対策

社会福祉士  
精神保健福祉士  
国家資格取得を目指し、1年次から段階的に国家試験対策が始まります。

## 実践

ソーシャルワーク実習・海外研修・子ども食堂・震災ボランティア・認知症サポーター・施設見学など

point 2

## 「スクールソーシャルワーカー」

## 「福祉心理士」養成科目を新設。

教育の現場で、福祉の視点をもちながら子ども達の最善の利益と環境を守るために働く「スクールソーシャルワーカー」と、心理学に基づき、福祉の対象となる人びとに対する理解を深める「福祉心理士」の資格取得が可能となります。

point 3

## 社会福祉海外研修を実施。

デンマーク・韓国・フィリピンなどの海外研修で、グローバルな視点とローカルな視点から社会福祉について学ぶことができます。